

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2013年03月11日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2012000014"/>	整理番号 <input type="text" value="11698"/>	担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="上皮バリア機能の増強方法及び増強剤"/>		
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="非メチル化CpG配列を含む核酸試薬、皮膚病治療薬"/>		
目 的	<input type="text" value="上皮バリアの脆弱化は、外来物質に対する生体の抵抗性を弱め、様々なアレルギー性疾患や炎症性疾患の原因となる。本発明は、上皮バリア機能の増強剤及び増強方法を提供することを主な目的とする。非メチル化CpG配列を含むオリゴヌクレオチドによる上皮バリア機能の増強によって、上皮バリア機能が低下する疾患等を治癒又は改善するための医薬組成物、外用剤等を提供することが可能になる。"/>		
技術概要	<input type="text" value="上皮バリアの脆弱化は、外来物質に対する生体の抵抗性を弱め、様々なアレルギー性疾患や炎症性疾患の原因となる。非メチル化CpG配列を含むオリゴヌクレオチドは、上皮のタイトジャクソン形成を促進・安定化させ、上皮の可溶性物質の透過性を阻害し、上皮のバリア機能を促進させる作用を有する。傷害された上皮が再生・治癒する過程で上皮バリア機能が低下することは、喘息などのアレルギー疾患の発症に関係しており、薬剤の介入により上皮の機能を高めることは、疾患の趨勢を好転させ、病態を改善することにつながる。非メチル化CpGは、タイトジャンクションの形成促進作用により、上皮バリア機能を増強し、上皮バリア機能が低下する疾患等を治癒又は改善する医薬組成物、外用剤等を提供することが可能になる。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp